

平成 25 年 6 月 18 日

加盟所属団体各位

(社) 全日本学生スキー連盟
競技本部長 佐々木貞昭
アルペン部長 若月 等
ジャンプ部長 佐藤 喜員
コンバインド部長 宮嶋 啓

マテリアルルール変更に伴う国内大会の対応について(お知らせ)

2013 年より、用具について、F I S のルール変更に伴い本連盟は新ルールを順守します。従って、従来の用具(スキー・ジャンプスーツ)では、大会の出場が出来なくなります。各自用具の確認をお願いいたします。

各部からルール変更に伴う実施内容をお知らせします。

【ジャンプ・コンバインド】

1. インカレ男子 2 部ジャンプ・コンバインドの競技を全日本 A 級スキー大会から除外する事にしました。

2012 年～2013 年シーズンよりジャンプスーツの規格(ボディサイズ+2cm以下)が変更となりましたが、今年第 86 回全日本学生スキー選手権大会(以降インカレ)では男子 2 部・女子 2 部に限り全日本スキー連盟から緩和措置が適応されました。しかし来シーズンからは緩和措置が適応されません。更に来シーズンもスーツの規格が変更される可能性があることから、対応が困難な選手が増加するため男子 2 部のジャンプ・コンバインド競技を全日本 A 級スキー大会から除外することにしました。

2. 第 87 回全日本学生スキー選手権大会

- (1) ジャンプ・コンバインド男子 1 部・女子 1 部・女子 2 部

全日本 A 級スキー大会とし S A J スキー競技規則に準じて行う。

- (2) ジャンプ・コンバインド男子 2 部

全日本 A 級スキー大会から除外とする。

基本的に S A J スキー競技規則に準じて行うがスーツ検査は実施しない。但し大幅にルールを逸脱したものやジュリーが危険と判断した場合は失格とする。

スキー検査は実施する。

- (3) ジャンプ・コンバインド男子 3 部・4 部

全日本 A 級スキー大会としない。

基本的に S A J スキー競技規則に準じて行うが、スーツ検査・スキー検査は実施しない。

但し、大幅にルールを逸脱したものやジュリーが、危険と判断した場合は失格とする。

【アルペン】

シーズン中のマテリアルについて（2013～2014）

	種目	男女	国内 COC・ FIS	SAJ A・B 級	B級大会 参加のチ ルドレン 選手	インター ハイ出場 の早生ま れの選手	国体 成年選 手	国体少 年の早 生まれの 選手	K1(U14) 選手	K2(U16) 選手						
スキー長 (最短長) スキー長 許容差±1	DH	女子	210	210	年齢カテ ゴリーの 用具で可	年齢カテ ゴリーの 用具で可	X	年齢カテ ゴリーの 用具で可	体格、体 力、技能 に適應し た スキー	175						
		男子	218	218												
	SG	女子	205	205												
		男子	210	210												
	GS	女子	188	188							188	年齢カテ ゴリーの 用具で可	188	年齢カテ ゴリーの 用具で可	130	130
		男子	195	195							195					
	SL	女子	155	155							X	X	X	X	130	130
		男子	165	165												
※DH,SG,GSは、許容差±5cm適用値(COCは除く)																
ラディウス (最小値)	DH	女子	50	50	年齢カテ ゴリーの 用具で可	年齢カテ ゴリーの 用具で可	X	年齢カテ ゴリーの 用具で可	体格、体 力、技能 に適應し た スキー	27						
		男子	50	50												
	SG	女子	40	40												
		男子	45	45												
	GS	女子	30	30							30	年齢カテ ゴリーの 用具で可	30	年齢カテ ゴリーの 用具で可	14	17
		男子	35	35							35					
スキー高		男女 共通	50	50	50	50	50	50	50	50						
ブーツ高		男女 共通	43	43	43	43	43	43	43	43						

※スキー高は、スキー+プレート+ビンディングの合計値

※年齢カテゴリーの用具で可は、最小値の意味

※全てのハード及びソフトパーツを含むヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔